

## CEOからみなさまへのメッセージ

取締役会長兼CEO  
西村 正雄取締役社長兼CEO  
杉田 力之取締役会長兼CEO  
山本 恵朗

みなさまには、平素より私どもみずほフィナンシャルグループをお引き立ていただき、誠にありがとうございます。当グループについてなお一層のご理解をいただくために、当グループの業績と経営方針等についてご紹介いたします。

#### 平成13年度中間期の実績

平成13年度中間期における経済情勢を顧みますと、米国経済の減速が欧州・アジアにも波及するなか、わが国においても景気が一段と悪化しデフレも進行する等、経済、市場環境は極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、平成12年9月のみずほフィナンシャルグループ発足以降、当グループは、第一勧業銀行、富士銀行、および日本興業銀行の3行とみずほ証券、みずほ信託銀行の中核5社を中心としたグループ一体運営を進めており、お客さまの多様化・高度化するニーズに積極的にお応えするとともに、さらなる経営合理化を図り、業績の進展に努めてまいりました。

一方で、資産の健全性を早期に確保する観点から、自己査定の一層の厳格化や不良債権の最終処理を図った結果、当中間期の連結決算につきましては、経常収益2兆7,737億円、経常損失3,910億円、当期純損失2,646億円となりました。

#### 「経営基盤強化パッケージ」

当グループは、平成14年4月に予定しております、第一勧業銀行、富士銀行、日本興業銀行の分割・合併に向けて、財務の健全性をいち早く強化し、統合効果を早期に実現するための「経営基盤強化パッケージ」を策定いたしました。

具体的には、財務体質の抜本強化を図るために引当強化等による不良債権問題の早期解決、

株価変動に左右されない強固な体質の構築、ならびに資本増強を行います。また、収益基盤の変革を図るために、リスクアセット依存体質からの脱却、徹底したリストラによるコスト構造の改革を行います。

これらを、短期集中で推進することにより、「財務体質の抜本強化」、「収益基盤の変革」を実現し、当グループに対する市場の評価を一層高めるとともに、来年4月に3行の分割・合併により発足する、みずほ銀行およびみずほコーポレート銀行のスタート・ダッシュに向けて基盤強化を図ってまいります。

### 平成13年度の見通し

この下期には「経営基盤強化パッケージ」に基づき大幅な引当強化を進める等、諸課題への抜本的な対応を行う予定です。その結果、今年度につきましては大幅な損失を計上する見通しであります。

今年度の普通株式および優先株式の中間配当につきましては、現在の経済、市場環境が極めて厳しい状況にあり、今後の見通しも極めて不透明であることから、堅実経営の観点より、見送らせていただくことといたしました。また、期末における配当金につきましては、財務基盤の強化等を考慮しまして、現在のところ、普通株式1株につき3,500円とし、誠に遺憾ながら年間では減配とさせていただき予定でございます。なお、優先株式については所定の配当を実施する予定としております。

### ビジネスモデルの実現

当グループは、平成14年4月1日に、関係当局の認可等を前提として3行を分割・合併し、「みずほ銀行」と「みずほコーポレート銀行」の2つの銀行を立ち上げると同時に、現在3行の子会社である、みずほ証券、みずほ信託銀行を当社の直接の子会社とする予定であります。これにより、グループ各社がその専門性を一段と向上させ、高付加価値の総合金融サービスを一層的確・迅速にお客さまにご提供できる新たな体制を実現いたします。

当グループは、引き続き、充実した営業基盤ならびに最先端の情報技術と金融技術に裏づけされた総合金融力を最大限に活用し、「最先端の総合金融サービスで、新時代をリードする革新的なフィナンシャルグループ」を目指してまいりますので、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年1月

株式会社みずほホールディングス

取締役会長兼CEO

取締役会長兼CEO

取締役社長兼CEO

西村正雄

山本恵朗

杉田力之